

世界的な食糧危機に備えよ

資源・食糧問題研究所代表

柴 田 明 夫
しば た あき お

- * 経済大国は同時に食糧生産大国
- * 資源枯渇で均衡点価格に変化
- * 世界の穀物需給は再び逼迫へ
- * 少なくとも増えている食糧増産の余地
- * 中国の累積的成長とそのリスク
- * 不足に備える中国の食糧備蓄戦略
- * 特定作物に依存しすぎの食糧生産
- * 高齢化進む稲作農業
- * TPPを危機ばねに農業再構築
- * 資源（土地・人・水）を遊ばせるな



浅野 開会いたします。（拍手）今日は、丸紅経済研究所の、いつもご紹介しておりますけれども、9月で丸紅を引かれたので、今度は資源・食糧問題研究所の代表ということで柴田明夫さんにおいでいただきました。

食糧を中心にした資源問題では日本の第一人者ですけれども、丸紅経済研究所の知名度を高めた功労者でもあります。今回、独立されて、これから経営者としてもご苦労なさるといふことになっております。事務所は、ここから歩いて20分ほど、隅田川べりの、明治座の先ぐらゐのところだそうです。

柴田 明夫
食糧問題は非常に重要なテーマですが、柴田さんに前回おいでいただいてからしばらく間が空きました。そういう意味でも今日は久しぶり

にたつぷり伺います。独立されて、二つぐらゐ講演はされたようですけれども、本格的講演としては今日が最初だと。本格的と言っては失礼かもしれませんが、楽しみに伺いたいと思います。それでは柴田さん、よろしくお願いたします。（拍手）

柴田 皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました資源・食糧問題研究所、まだちょっと、なんとなく発音がしにくいんですけれども、よろしくお願いたします。

今日は「世界的な食糧危機に備えよ」という演題ですが、一方で食糧危機をおおってはいけない、というふうにも叱られておまして、食糧問題というのは、エネルギー問題も同じだと思っておりますけれども、ずいぶん悲観的な見方と